



チョウチョウウオ

侍従会顧問の高桑正敏さんが、8月25日にすい臓がんのため急逝されました。

葬儀は、ご家族の意向で家族葬にて執り行われました。

高桑さんは、六浦出身在住であり、侍従会の前会長の相川さんとは同級生でもありました。その縁もあり、ふるさと侍従川に親しむ会の発足時に顧問として亡くなるまで、当会を支えていただきました。

高桑さんは、神奈川県立生命の星・地球博物館の学芸部長として、また日本甲虫学会会長として、昆虫の研究（特にカミキリムシ）などに多大な足跡を残され、ヘラクレスオオカブトの一亜種の命名など、様々なエピソードを残されるなど、昆虫の世界では名の知られた方でもありました。そんな高桑さんですが、侍従会の子どもたちのためにボランティアで昆虫観察会の講師を何度か務めていただいたり、侍従川版レッドリスト作成のアドバイスをいただいたりと、お忙しい身でありながら、気さくにまた親身になって侍従会の子どもたちや若者のために動いていただきました。今は少なくなってしまった“虫とり少年(少女)”が増えてほしいなあ…そうつぶやいていたのを覚えています。侍従会の子どもたちが虫や魚を捕る…そんな光景がいつまでも続くように、これからも高桑さんの思いを大事に活動していきたいと思えます。

今までありがとうございました。謹んでお悔やみ申し上げます。

代表 山田陽治



(編集部注:私が子どもだった頃は、お休みします。)

チョウチョウウオ (蝶蝶魚)

学名 : *Chaetodon auripes*

名前の由来はその姿や泳ぎ方からで、この仲間には色鮮やかなものが多い。日本では約50種が確認でき、熱帯に多く分布する。侍従川が注ぐ野島の海では、黒潮に乗り流れてきたものが、初夏から確認される。このように流されてやってきた魚たちは死滅回遊魚と言われ、冬には冷たい水温に耐えられず死んでしまう。高橋周佑

## 佐野真吾が語る侍従会の思い出（番外編）～高桑さんの夢枕～

2016年8月25日、代表山田さんから元気のない声で電話がかかってきた。「シュノーケルの件、今ちょっと忙しいからまた改めて返信するね。それで、それは置いといてなんだけど…さっき梅田くん（ヤゴ図鑑著者で侍従会初期メンバー）から連絡があって…まだ分からないんだけど…高桑さんが亡くなったって聞いたらしいんだけど、サノシン聞いている？ いや！ 噂だけだから間違っているかもしれないんだけど…」。

嘘だと思ったが思い当たる節は十分にあった。5月、私は大学の博士研究の審査員になっていただきたいと高桑さんに連絡をした。高桑さんはそれを快く引き受けてくださった。しかし、6月頃、お腹が痛くて、岡山の調査から帰ったら一度病院に行くので、発表会は行けないかもしれないとメールをいただいた。「でも行けたら行きたいから日にちはおしえて？」と言われた。それからメールでやりとりをしていたのだが、6月下旬頃にお電話をいただき、「ごめん佐野くん！ 入院することになった！ 今日朝から病院に行ってきたもうクタクタだよ～ でも大丈夫そうだから！ カルベやみんなには心配かけたくないから言わないでおいて！ あとお見舞いとかも大丈夫だよ～」と言われた。

それから7月にあった大学の発表会終了後に、再び高桑さんに電話をさせていただいた。「体調はいかがですか？ 大丈夫ですか？」「うんまあなんとかなりそう！ 発表お疲れ！ 次回の発表会には行けるようにするから引き続き頑張るね☆ 返信遅れるけどメール入れといて！」と言ってくくださったので、少し安心したのだった。

しかし、8月初旬に発表会の内容をまとめてメールを差上げたのだが、高桑さんからの返信はなかった。この時は、メールの返信が遅れるとおっしゃったし、声も元気そうだったので心配はないと思っていた。それから数週間後の今日、山田さんからの電話だった。

まさか！？ 高桑さん大丈夫だって言ってたのに… 嫌な予感がした。「誰かに聞いてみます！」「いや、でも噂かもしれないから…」「カルベさんなら聞けるので聞いてみます！」カルベさんとは神奈川県立 生命の星・地球博物館の昆虫担当の主任学芸員で、私の師匠の苅部治紀さんだ。高桑さんの後任であり、高桑さんとは親子のように冗談を言い合える上司部下の関係である。私にとってもカルベさんは特別な存在で、もし間違いだったとしても怒らず「高桑さん生きてるよ～ 佐野くん殺さないでよ～笑」と笑い飛ばしてくれると思った。しかし、この時、カルベさんは電話に出なかった。ますます不安が膨れ上がった。それから2時間くらいしてカルベさんから電話がかかってきた。「メールみたよ！…今日ね…、高桑さん亡くなったって…」いつもハキハキ早口でしゃべるカルベさんだが、声のトーンが低かった。「俺も入院していること先週くらいに聞いて、お見舞い行ってきたんだけど、その時は元気だったんだよ。だけど今週になって急変したらしい。すい臓癌だって。まさか死ぬとは思わなかったよ…みんな驚いてるよ…」期待していた返答は返ってこなかった。カルベさんもまた急な出来事にまだ心の整理が付いていない様子だった。近くで聞

いていた妻は、話から察したようで、「電話カルベさん？ 私、高桑さんと会うの1回きりになっちゃった…」と言った。

それから3日後のことである。私は高桑さんが出てくる夢を見た。起きた時、まだ覚えているうちに文章に書き起こそうと思って書いた。現実の出来事のような夢である。

私は夢の中で突然目が覚めた。すると誰かが「うわっ！ビックリした！起きた！もう佐野くん驚かさないでよ～」と言った。するとそこには高桑さんがいた。

高桑「みんなに挨拶して回ってきたんだけど、今のところ起きたのは佐野くんが初めてだよ！笑 さすが佐野くん！ そんな能力を持っていたの？笑」

佐野「いや…？…これはいったい？…夢枕みたいな感じですか？？」

高桑「うんまあそんな感じ！笑 佐野くんごめんね～ 博士の審査員できなくなっちゃって！」

佐野「7月電話した時は大丈夫だとおっしゃっていたので安心していたんですよ…」

高桑「あの時は、こんなに早まるとは思ってなかったんだよ！ 俺も大丈夫だと思って引き受けたんだから。今まで虫いっぱい殺してきたから地獄に落ちたら嫌だなあ～ コワイなあ～笑 あとは、思い残すことと言えば、俺は佐野くんを「ゲンゴロウくん」としてタレントデビューさせたかった！！笑 でも佐野くんは嫌なんですよ？笑 まあでも佐野くんには北野さん（東海時代の恩師）もカルベ先生もいるし大丈夫だよ！ 頑張っ！」

佐野「ゲンゴロウくんは別に…笑 あっ！カルベさんのところにはもう行きました？ 一昨日カルベさんと電話しましたよ。あのカルベさんがシュンとなっていましたよ！」

高桑「もっとシュンとなってもらわなくちゃ困る！笑 カルベには言いたいことたくさんあるから後回しだよ！笑 たたっても起きないだろうからね！ アイツは！笑」

佐野「あははそうですね！笑」

高桑「侍従会も顧問なのに、何もしなくてごめんね！ 山田くんや相川にもよろしくね☆」

佐野「はい！」

高桑「じゃあそろそろ次の人のところに行くね～☆」

私のイメージと期待が作り上げた夢なのかもしれないが、高桑さんならこんなことを言うだろうと納得する夢だった。そしてこの夢をみて高桑さんが亡くなったことを実感した。

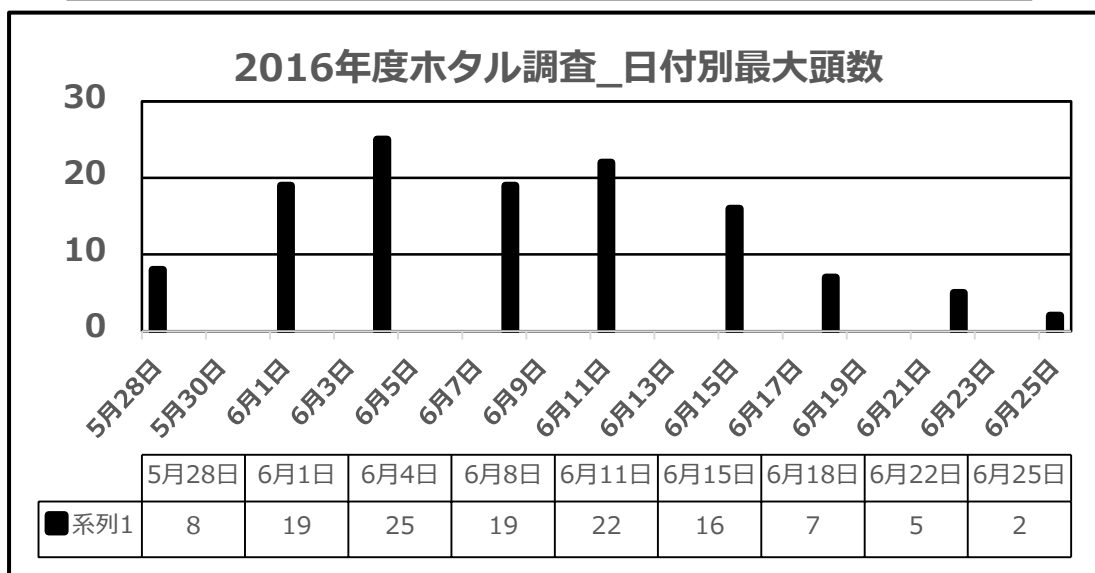
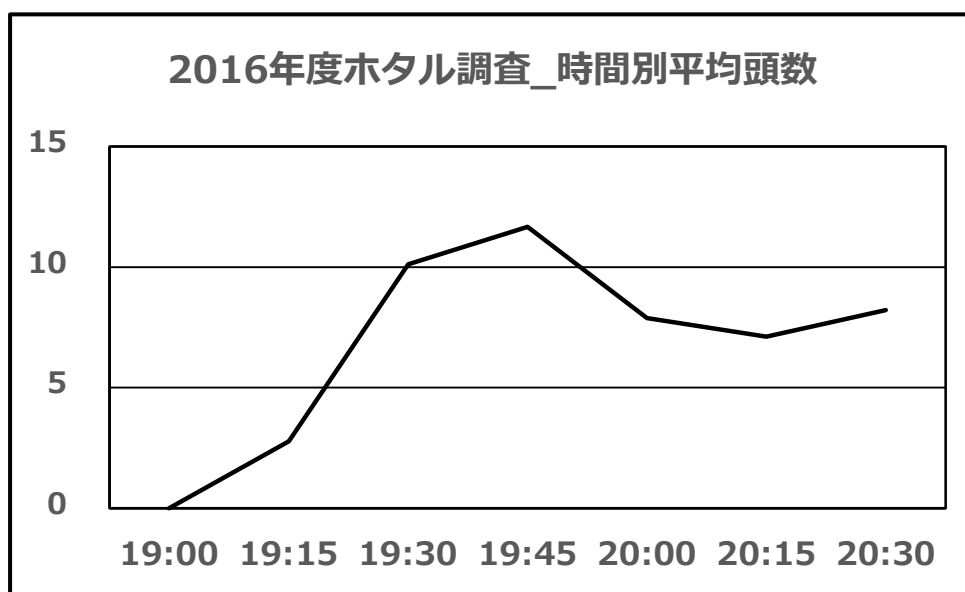
連日、各会のメーリングリストで高桑さんの訃報とそれにむけてのコメントが鳴りやまなかった。それほど世の中に大きな影響を与えた人だった。私はまだまだ高桑さんの遺志を継げるほど器の大きな人間ではないが、今の私にできること、そしてもっと成長したらできること、また、私だからこそできることを考えていきたいと思う。そして、高桑さんがやってきたことや、やろうとしていたことを少しでも継ぐことができるのであれば、これからの私の夢の一部にさせていただきたい。

## 2016 年度学生部ホタル調査報告 in 大道溪谷

5月28日から6月29日までの毎週水、土曜日に学生部でホタル調査を実施した。場所は大道溪谷(大道中学校)、学生部主導で19:00から20:30まで15分間隔で個体数を調査した。

時間別平均頭数のグラフを見てわかる通り19:45頃がピークなのは平年と変わらなかった。一方日付別最大頭数のグラフに示される通り、6月4日の25頭がピークではあったが平年と比べ著しく数が減少している。平年では少ない年でも50頭を超え、多い年には100頭を超えるホタルを観察できた年もあった。なぜ今年の個体数が減少したのかを考えると、一概には言えないがホタルの飛翔環境を整備できてないことがあげられるかもしれない。今までは毎年冬場にホタルの飛翔環境を整えるべく整備作業を侍従会として行っていたがここ2年ほど行われていない。そのため、大道溪谷一帯は藪化が進んでおり、ホタルの飛翔を妨げていると考えられる。

冬には学生部主導で大道溪谷整備作業の実施も検討し始めている。学生部だけでなく会員みんなの力を借りて大道溪谷のホタルを守っていかれたらと思うのである。



## 会員のつどい

【活動報告1】

6月4日(土) 18:30～ 大道コミュニティ

河本充雄

今年もホタルのシーズンに会員のつどいが開催されました。

今回は、昨年度の活動報告や今年度の活動計画の発表の他に、役員交代、会則の改定が承認されました(詳細は以下をご覧ください)。長年、侍従会の活動を支えていただいた事務局の長橋さんと会計の田辺さんお疲れ様でした。新メンバーが加わりましたが、これまでと同様によろしくお願いたします。

### 平成28年度以降の役員(下線が新役員、カッコ内は旧役員)

代表 山田陽治

副代表 佐野真吾

会計 柴田繭子 (田辺香代子)

事務局 窓口担当 金澤由香  
名簿管理 今井幸子 (長橋輝明)

広報 ホームページ担当 廣瀬隆夫

会報担当 河本充雄

実行委員(\*はリーダー)

クリーンアップクラブ \*細川一雄、村田章夫

学生部生物調査クラブ \*佐野真吾、金子英司、瀧本宏昭

ジュニア探検クラブ \*山田陽治、今井康祥、寺尾勝廣

学校活動スタッフ 鷺谷康子 (玉利海太郎)

河川管理協力員 飯村優介 (細川一雄)

地域連携アドバイザー 長橋輝明



### 会則(抜粋)

(事務局)

第5条 会の活動の調整および窓口機関として事務局を置く。

2 事務局は、横浜市金沢区六浦5-23-26 ~~長橋輝明~~内3-17-20-2とする。

(運営会議)

第9条 運営会議は会の活動の決定機関であり、実行委員は、四半期ごとに運営会議を実施し、活動内容の確認を行う。~~運営会議の議長は持ち回りとする。~~

(活動資金)

第14条 活動にかかる費用は、会員から徴収する年会費および賛助金、行政機関等の助成金をあてる。年会費は以下のとおりとし、~~毎年6月までに納める~~する。

・大人3000円 ・大学生以下1500円

## ホタル観察会

【活動報告2】

6月4日(土) 19:30～ 大道中学校

深沢大地

毎年恒例の大道中学校でのホタル観察会が、今年も6月4日に行われました。

この日は曇りで気温も低く、あまり良い条件ではなかったものの150人を超える人達が見に来てくれました。

週2回行っていたホタルの頭数調査の時に、丁度観察会の時あたりにピークが来るのでは？と予想していましたが、その予想があたり多くのゲンジボタルを観察することが出来ました。

この日の時間的なピークは19時45分頃でオス23個体、メス2個体のホタルを見ることが出来ました。

2年間、伐採等の手入れが出来ていない事もあり、今年にはホタルの数が少ないように感じます。また例年多く飛んでいた場所の藪化が進んでいてその部分ではホタルが飛ばなかったり、繁った藪の中で光ってる個体もいました。

ゲンジボタルにとって良い環境を維持するために、今年には藪の整備などの活動もしっかりやっていかないといけないですね。



## 6月定例クリーンアップ

【活動報告3】

6月26日(日) 9:00～11:00 晴れ

細川一雄

実施内容：朝比奈橋～大道橋～大道東橋（土嚢袋8袋分回収）

参加者：西澤博厚、長野政治、村田章夫、石渡博、角田繁、八木場紀元、中村健二、石塚正夫、関場俊子、関場沙羅、寺尾勝廣、山田陽治、飯村優介、伊藤愛、柴田繭子、柴田真菜（小5）、柴田幸成（年長）、今井康祥、今井翔太（小5）、金子英司、深沢大地（高1）、高橋一太（中1）、金澤瑛士（中3）、金澤喜乃（小6）、佐藤孝徳、佐藤弥粹（小6）、林正隆、林友美、林叶恵（小4）、林正朗（小2）、鈴木拓海（中3）、徳永宗介、徳永哲郎（小2）、筒井真司、筒井祐喜（小1）、小野島貴弘、小野島千夏（小4）、小野島美咲（小2）、加藤裕一郎、加藤皐月（小5）、加藤賢太郎（小3）、加藤慎二郎（年長）、渡辺あや、渡辺よう（小3）、渡辺れん（小3）、宮原由佳、宮原心菜（小4）、宮原碧（小3）、浦知美、浦なつこ（小5）、内山貴子、内山美優（小5）、小川和美、小川翔太（小5）、蒲田しゅうへい（小5）、家島可奈、高倉正史、山下苺依、小田島恵美、中村琢、細川一雄（計61名）

今年、空梅雨のため、関東地方では取水制限が行なわれる状況です。そのため当日もカラリと晴れましたが、ジメジメしてちょっと動いただけで汗が出てきます。今回は、寺尾さんがボーイスカウトの子ども達十数人と親御さんを伴って参加してくれました。また、三宅島から伊藤さんが参加してくれて、総勢61名の大所帯となりとても賑やかなクリーンアップになりました。

網を持っていない子には網を貸出し、50名以上が中流域に入っていました。大人たちは上流のゴミ拾いに出発します。青木橋上流で砂地がある場所にはウキゴリの子どもが沢山泳いでいました。横浜屋横の草むらに沢山のセイタカアワダチソウが伸びていたので、花が咲く前に1本1本引き抜いて殆ど抜いておきました。ちとせ園に帰ると、中流域から子ども達が大騒ぎしながら上がってきます。捕まえた生き物を、水槽に入れ山田さんから生き物の講義がありました。当日はヒバカリが3匹、アオダイショウの子どもと親がそれぞれ1匹、クサフグ、マハゼ、等色々な生き物が捕まえられて侍従川ミニ水族館も大盛況でした。

子ども達に冷たい飲み物とお菓子、大人たちは冷たい飲み物を飲みながら歓談してもらい解散しました。県営住宅跡地に土嚢袋を置きに行くと大道町内会の方々が空き地の草刈りをしていました。この空き地は大道町内会と侍従会が連名で神奈川県から借用しているものですので、大道町内会の方だけにお任せするわけにも行かず、草刈りの手伝いをしました。

その際、大道町内会の長谷川会長に、侍従会の活動で遠くから車で参加される方がいますので、その際はこの空き地に自動車を留めさせていただいていますのでご了承下さいとお願いしましたら、快く承諾していただきました。また、留めた自動車が誰の物かわからないと困るとのことでしたので、車のフロントガラスに置くように駐車票を作る旨お伝えしました。後日私が作成し、クリーンアップ当日に車で来た方にお渡しします。



ブックオフ下の清掃風景



ごみの回収作業風景



地藏前橋の下で見かけたアオダイショウ (体長1m程)



回収した8袋のゴミ

## 7月定例クリーンアップ

【活動報告4】

7月24日(日) 9:00~11:00 晴れ

細川一雄

実施内容:朝比奈橋~大道橋~大道東橋(土嚢袋9袋分回収、スケートボード、鉄棒(1m)、鍋蓋×2他)

参加者:長野政治、中山吉雄、長橋輝明、西澤博厚、角田繁、中村健二、石塚正夫、関場俊子、飯村優介、柴田繭子、柴田真穂(中3)、柴田真菜(小5)、柴田幸成(年長)、金澤由香、金澤喜乃(小6)、金子英司、深沢大地(高1)、高橋一太(中1)、林正隆、林正朗(小2)、菊池栄美、菊池悠紀(小4)、菊池光成(4才)、丸田隆通、丸田八重子、丸田稀斗(小3)、保坂裕美子、保坂匠美(小1)、保坂光紀(年中)、折笠真理、折笠叶芽(年中)、川本滉貴、川本麻美子、川本百合愛、圓城寺良江、圓城寺駿(年中)、畔田光信、畔田和美、畔田温大(小3)、畔田千愛(小1)、藤川香織、藤川清志郎(小5)、藤川杏子(小1)、市川真奈美、市川倅矢(小1)、小坂信房、細川一雄(計47名)

今年は、観測史上何番目かに入る遅い梅雨明けになるようで、7月の下旬になっても関東地方はまだ梅雨明けしていませんが、空梅雨で余り雨が降らないので、梅雨の最中という感じがしません。今回は、横浜市内の全所帯に配布される広報紙「[広報よこはま 7月号](#)」が7月1日に発行され、その中の[金沢区版](#)に侍従川の特集記事が掲載されました。その記事の成果か、その後私の携帯電話に侍従川清掃についての問合せ電話が何件か有りましたが、当日の参加者名簿を見ると、10組の家族で27名の方が初めて参加してくれました。

今回は山田代表が欠席した事と、初参加の方が大勢居ましたので、急遽飯村さんに中流域の誘導をお願いし、私が補佐で付くことにしました。大人たちにはいつもの通り、上流域のゴミ拾いをお願いしました。先発組は網と土嚢袋を持って長島橋から川に下りて川を遡りながら魚採りとゴミ拾いを行ないます。後発組は、ちとせ園から川に入り、川を下りながら魚採りとゴミ拾いを行ないました。子ども達に水草の下に魚が隠れている事を教え、実際に魚が取れると大喜びでした。山王橋で合流し、ちとせ園に向かいます。

当日の獲物は、ゴリ、チチブ、テナガエビ、カニ、カワナ、ハグロトンボなどでした。清掃作業終了後、子ども達に冷たい飲み物とお菓子、大人たちは冷たい飲み物を飲みながら歓談してもらいました。当日はバーベキューを予定していましたが参加者から会費を集め、買出しに行く者と、火をおこす者と担当を決め準備を行い、約3時間、皆で歓談し、後片付けをして解散しました。



回収したゴミ



## 8月定例クリーンアップ

【活動報告5】

8月28日(日) 9:00~11:00 曇り(台風10号接近) 細川一雄

実施内容: 朝比奈橋~大道橋~大道東橋(土嚢袋5袋分回収、発泡スチロールの箱、長い塩ビパイプ他)

参加者: 長野政治、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、中村健二、村田章夫、関場俊子、関場彩莉、外川忠志、山田陽治、金子英司、深沢大地(高1)、高橋一太(中1)、小坂信房、佐藤弥粹(小6)、徳永宗介、徳永哲郎(小1)、徳永琉平(5歳)、横山岳大(小1)、細川一雄(計20名)

非常に大型で勢力の強い台風10号(中心気圧:940hpa, 最大風速:40m/s、瞬間最大風速:60m/s)が、沖縄の南海上でUターンして関東地方に近づいて来ている為、天候が急に変化します。また、8月に4つの台風が上陸するのは70年?ぶりとのことでした。当日は天気予報では曇りでしたが朝から小雨が降っていました。しばらく待って雨がやまなければ中止の連絡をする予定でしたが、8時すぎに雨がやんでくれました。どんよりとした雲が空を覆っていましたが、雨が降らない事を祈ってクリーンアップを実施しました。

夏休み最後の日曜日のせいか、いつもより子どもの数が少ないように思われます。夏休みの宿題の追い上げで忙しいのかな?。雨が降って来ない内に作業を終わらせるべく予定時刻で上流と下流に分かれて作業を開始しました。先日の台風の大雨で川の中の草が軒並み倒されていたり、根こそぎ流された草がいくつか川の中に留まっていたり。

川に入ると8月の強い日差しで草が大分大きくなっていました。伸びすぎた草やセイタカアワダチソウを切ったり、引き抜いたりして川を下っていきます。大雨でゴミが流されてしまったのか、余りゴミが目立ちませんでした。また、県営住宅の裏に2週間ほど前から自転車が落ちていたので、台風が来る前に川の中の障害物を取り除いた方が良くという事でその自転車を引き上げました。交番に届け出たら盗難届けが出ていました。持ち主に連絡して引き取ってもらった様です。



ブックオフ下の清掃風景



ごみの回収作業風景



回収したゴミ(5袋) 塩ビパイプ



県営住宅裏の自転車と引き上げた自転車

## ピカピカタンポポだより② 横浜市立大道小学校 鷺谷康子

### 6月25日(土) トンボ池のエコアップ

大道小学校のトンボ池のエコアップが行われました。

今年は天気にも恵まれ、侍従会の飯村さんや大道村の方々、岡さん、そして呼びかけに応じて参加してくれた大道小の在校生や親子が集まり、30名あまりの参加者で行うことができました。大道の教職員、そして大道職員のOBの尾上先生、伊藤先生、玉利先生も参加してくださり、作業がどんどん進みました。

今年のためには、トンボ池のザリガニの駆除、トンボ池の底にたまったヘドロ化した泥の除去、トンボ池の環境を整えるための水生植物を植えつけ、そして水車小屋などの池の周りの清掃です。グループに分かれて行いました。エコアップの4～5日前に大道村の方々が機械を使って、うっそうと伸びていた池の周りの草を、きれいに取り除いてくださっていたおかげで、池の周りの足場もよく、てきぱきと作業が進みました。5月のトンボ池清掃の時に1年生があんなにとってくれたと思っていたザリガニも、またバケツに3・4杯の量採れ、びっくりです。でも小さなものが多かったので、やはり、駆除していくことは「効果あり」だと思いました。また水生植物の植えつけも「マコモがいいよ。」と侍従会の皆さま方からアドバイスいただき、侍従川から採取したマコモを10株ほど移植しました。問題のヘドロも池底から取り除き、水質もよくなりそうです。

池から救った？生き物もクロメダカをはじめクチボソなどの稚魚やドジョウ、エビやカワニナなどなど、たくさん見つかって安心しました。

こうやって、トンボ池は皆さまに支えられて、子どもたちが気軽に生き物・自然に触れ合える場所になっているのだなと改めて感じました。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

9月に入り子どもたちが、学校に戻り、またふれあいタイムなど、子どもたちがトンボ池で遊んでいます。毎日「こんなザリガニをみつけた！」「コメツキムシがトンボ池の橋のところにいる！」「トンボを捕まえたよ！シオカラとアキアカネ！」などと報告してくれます。また、最近も池の周りに大きく茂った草を、大道村の方たちが、機械できれいに取り除いてくださいました。

これからも秋のトンボ池・侍従川清掃などの活動を通して、自分たちの周りの環境を大事にしていく事を、体験を通して子どもたちにもつなげていきたいと思っています。



子どもたちが帰った後の9月のトンボ池の様子

北の国から ～雨が多いウトナイ湖～ 瀧本宏昭

6月くらいから、今年は雨が多いらしい。私は今年からこの場所に住んでいるので、去年と比較はできないが、確かに関東の梅雨のような雰囲気が続いていた。北海道はカラッとしていると思っていたが全然違う。気になったので少し調べてみた。気象庁のデータでみると、例年と比べて雨の量は数字でも多く、6月は約3倍、7月は約1.4倍、8月は約1.7倍であった。さらに、1年で台風が4つも上陸したのは観測史上初だそうだ。



冠水前の道

こんな天気が続くウトナイ湖だが、私自身初めて見る湿地らしい自然の風景を見せてくれた。それは、広い面積での冠水（水があふれること）だ。近所の町や畑には影響はなかったが園内の道のほとんどが水没した。道だった所が深い所で水深50cmにもなり、木道がプカプカ動くほどだった。



雨降り後

興味深かったことが2つあった。1つは雨が降ってから、水があふれるまで時間差があったことで、2日後位に水位はピークになった。このことは周辺の湿地や森が天然のダム役割をしているということを実感させてくれた。2つ目はこういったことが自然にとっては湿地という場所が残っていくためにとても大切なことだと体感できたことだ。実際、近年ウトナイ湖の水が減り、周辺の湿地や草地が林になってしまうことが課題になっていたが、長年ウトナイで植物の調査をしている方の話では、今年は湿地を好む植物が多くなっているとのことだった。こういった植物はその場所が林になってしまうとなくなってしまう。大雨は洪水などで悪いイメージもあり、実際に被災された方にはお悔み申し上げます。しかし、大雨にはメリットもあることを体験させてくれたこの時間は、私にとって大変貴重なものであった。



湿地の植物サワギキョウ



湿地の植物ナガボノシロワレモコウ

今季、ロシアからやって来る旅鳥のマガンを、初めて確認した9月8日のウトナイ湖より。



草地の植物エゾリンドウ

## 琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

### ～ ハロウエルアマガエル ～



学名：*Hyla hallowellii* 体長：30～40mm

分布：沖縄本島中・北部、与論島、沖永良部島、徳之島、奄美大島、加計呂麻島、喜界島  
夜間に山地の沼地、サトウキビ畑の貯水池などで複数の個体がギーツ♪ギーツ♪とけたたましく鳴いている。本土に広く分布するニホンアマガエルよりも細身で一回り小さく、樹上の高い場所やススキの葉の間にいることが多い。和名の「ハロウエル」は日本の両性・爬虫類を研究した学者の名前が献じられたもの。 監修：熊井（沖縄在住）

### 朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

今年の初挑戦アメリカザリガニ。大道自然広場のエコアップの際なかなか減らない外来種です。今年も沢山。輸入された歴史から食用利用をためした。

料理ポイントは水で何度も泥抜きと、圧力なべでの加熱下ごしらえ。そして天ぷらに。大きいのは皮むきして身をかき揚げに。小さめのものは全てたべられて、エビのような味と食感。かき揚げはカニとエビの間の風味でこれもおいしくいただけました。

梅雨は長くなりうまい夏キノコも豊富でした。在来種アメリカウラベニイロガワリは定例会の日にも採取できた。



ザリガニ天ぷら



アメリカウラベニイロガワリ



## 虫のきょういく座談会 ～虫とりは経験とセンス! ?～



今回の座談会場は遠く北の地、北海道苫小牧市から始まる。2016年8月22日、この日佐野夫婦は苫小牧市のイオンの駐車場にいた。

瀧本「久しぶり～」

佐野「おおタッキー！何かすごい痩せたなあ！」

瀧本「そお？笑」

瀧本氏は侍従会学生部の副リーダーであり、佐野とは同じ年で10年近く共にタッグを組みやってきた仲である。また仕事では横浜自然観察の森のレンジャーとして長年活躍されていた。しかし、そんな瀧本氏が今年の冬頃連絡をくれた。

瀧本「近々飲みに行かない？話したいことがある！」

結婚か？結婚か！？誰もがそう思った。しかし…

瀧本「苫小牧のウトナイ湖に行こうと思う！鳥の調査とか保全をやりたいんだ！」

ある意味駆け落ちのような言葉を残し、彼は北海道ウトナイ湖のレンジャーとして、単身北の国へ旅立ったのであった。それから5ヶ月後の本日である。この日は瀧本氏に苫小牧市の川や池を案内してもらった。台風が迫り、豪雨の中でのゲンゴロウ採りをお付き合いいただいた。

さて、この日の夜は瀧本氏と佐野夫妻の3人で飲み会をした。

佐野「いやいや今日はありがとうございます！」

歩海「ゲンゴロウ採れて満足だね☆」

瀧本「満足してくれたならよかったよ☆」

佐野「それにしても北海道はメシがとにかく美味しいね！！」

歩海「魚介は全然違うよね！ホタテなんて甘いし柔らかいし！」

瀧本「そうなんだよ！俺も元々魚介が好きだから良かったよ！」

佐野「タッキー、新しい職場はどう？忙しいの？」

瀧本「うん！毎日調査漬けで結構忙しいね！横浜にいた頃は、環境教育とかイベントが多かったけど、北海道に来てからはフィールドが多くなったよ。」

佐野「なるほど！今日、久しぶりに一緒にフィールド出て思ったけど、フィールド経験値がめっちゃくちゃ上がったと思ったよ！」



瀧本「え？ そお？笑」

歩海「どんなところからそう思ったの？」

佐野「う～ん…慣れた藪こぎとか雨の中でのメンタルとか、網の使い方とか？ まあ網の使い方は北海道以前からだろうけど。」

歩海「確かに！ しんちゃん(僕)とタッキーはゲンゴロウ採れるのに、何で私だけ採れないんだろう？って思った！」

瀧本「網の使い方はあるよね！ あとは池の中だけでもどういう所にいそうとか！」

歩海「ゲンゴロウ採集ってトンボとかチョウと違って、目に見えてない状態から採らないといけないじゃない？ 当てずっぽうに網をふるってるわけじゃないんだ？」

佐野「そりゃそうさ！！ 水生植物の種類とか生え方とか見て、狙う場所、網の入れ方とかあるんだよ！」

歩海「へえ～」

佐野「これは現場の経験とセンスだよな！」

瀧本「ほう！笑」

佐野「どんなに経験を積んでも採れない人っているんだよ！ 逆に経験少なくてもすぐに採り方を身に付けられるセンスのいい人もいるんだよ！」

歩海「でも私、池の中では採れないけど、上から見てて、この池はいそう！っていうのは分かるようになったよ！ フィールドセンス良くない？笑」

佐野「まあ、悪くない！笑」

歩海「おい！笑」

佐野「タッキーはさあ、そういう現場を見る能力は昔からあったよね！ だからこそ今回期待して案内をお願いしたし！笑」

歩海「実際に採れたしね！」

瀧本「俺も案内しておいてなんだけど、実際に今日の池に網を入れたのは初めてだったんだよな！笑 ゲンゴロウ採ったのも今日が初めてだったし！ けど、ここはいそうだなって思ってたよ！」

佐野「そういう感覚って何なんだろね？笑 経験？ センス？」

瀧本「今日の座談会のタイトルは「経験とセンス」でいいじゃん！笑」

佐野「そうしよう！笑」

おそらく虫とりに経験とセンスは両方必要だろう。しかし、経験が増えると経験に捕らわれ、予期せぬ事態に読みを外すこともある。また、その逆もしかり、センスに任せるだけでも時に的外れな読みをしてしまうこともある。大切なのは両方なのだ。その後、筆者佐野と瀧本氏は互いの経験とセンスを無駄に褒め合いおだて合い、気持ちよくグデングデンになって解散したのだった。しかし！！ その夜、佐野は己の経験とセンスを覆す事態に

見舞われたのであった。

ホテルに戻ると左足を中心に燃えるように熱くなり熱を出した。思い返してみれば、数日前、左足に虫刺されの痕があり、そこを中心にドーナツ型の腫れを起こした。さらにふくらはぎが筋肉痛のようになった。しかし、筆者は生き物の毒に異常に強い体質であることに加え、網をふるったり飛んだり跳ねたりしていたので、腫れや筋肉痛に関して気にしなかったのである。しかし、結果この始末である。この発熱の正体はおそらくマダニによる感染症、日本紅斑熱だ。最終夜にして翌朝の10時くらいまで苦しんだのであった。まさに己の経験とセンスを過信した結末であった。

### トピックスその1

5/24 (火) 杜ちやいど園おひさま組が侍従川で魚  
捕り (中流域) …細川、山田が対応 ⇨

5/29 (日) はまぎんこども宇宙科学館洋光台サイエ  
ンスクラブ自然観察教室で侍従川観察 (中流域) …  
徳丸、西澤、村田、細川、金子、山田が対応

6/3 (金) 高舟台小学校5年生に侍従川のレクチャー…山田が対応  
六浦小学校3年生に侍従川のレクチャー…山田が対応

6/6 (月) 高舟台小学校5年生が侍従川探検 (中流域)  
…村田、細川、飯村、山田が対応

6/11 (土) ちょうふしぜんフェスタ～調布のしぜん  
にふれてみよう! 於: 調布駅前  
生きもの展示で出展…今井、深沢が対応 ⇨

※主催者である公益社団法人調布青年会議所からお礼状を戴きました

6/14 (火) 大道小学校3年生に侍従川のレクチャー…山田が対応

6/16 (木) 大師高校1年生が侍従川体験 (中流) …飯村が対応

神奈川保育園が侍従川で川遊び (中流域) …西澤、村田、細川が対応

7/1 (金) 大道小学校3年生が侍従川探検 (中流域) …村田、細川、関場、山田が対応

7/5 (火) 六浦小学校3年生が侍従川探検 (中流域) …村田、細川、山田が対応

7/6 (水) 高舟台小学校5年生が侍従川生きもの調べ  
(下流域) …細川、村田、西澤、山田が対応 ⇨

7/7 (木) 六浦小学校3年生が侍従川探検 (中流域)  
…細川、村田、関場、山田が対応

7/13 (水) 大道幼稚園が侍従川川遊び (中流域) …  
村田、関場、村田、細川が対応



# 侍従川定例調査報告 学生部

2016年5月22日(日) 9:00~11:30

【調査範囲】 泥牛橋~加倉橋付近

【確認した生物】 チチブ：多数、ビリンゴ：多数、ウキゴリ：多数、マハゼ：1、ヒナハゼ：6、アベハゼ：2、クサフグ：1、ウナギ：1、テナガエビ：7、ミゾレヌマエビ：多数、クロベンケイガニ：1、イシマキガイ：多数、カワニナ：多数、ハグロトンボ幼虫：18、コヤマトンボ幼虫：1、ヤマサナエ幼虫：1、コシボソヤンマ幼虫：4、ガガンボsp：1、アオダイショウ：1

<目視> ボラ：多数、コイ：多数、ミシシippアカミミガメ：1、カワウ：1

その他：チチブ、ビリンゴ、ウキゴリの幼魚が多数確認できた。

【備考】 兩岸の多くの場所で倒れた草が枯れて独特の腐敗臭が充満していた。

ちとせ園手前の周辺で石に生える藻の類が川底を覆いつくしていた。

今回もヒナハゼが記録された(定着か?)。

ハグロトンボのヤゴはほとんどが終齢を迎えた大きな個体ばかりだった。

今回もシマヨシノボリを確認することができなかった(減少傾向にある?)。

2016年6月18日(土)

【調査範囲】 下流域(汐見橋-京急本線橋)

【確認した生物】 マハゼ、ウロハゼ、ビリンゴ、ニクハゼ※侍従川では初記録?、ヒナハゼ、アベハゼ、チチブ、メジナ、クサフグ、ボラ、スズキ(目視)、フタバカクガニ※久しぶりの確認、クロベンケイガニ、アシハラガニ、タカノケフサイソガニ、チゴガニ、チチュウカイミドリガニ、テナガエビ、スジエビモドキ、ユビナガスジエビ、アサリ、コウロエンカワヒバリガイ、ウミニナ sp.、ミズクラゲ、カワセミ、イソシギ、アオサギ、カワウ

【備考】 近年数を減らしているアシハラガニや記録の少ないフタバカクガニが確認されました。しかし、2000年代初頭まで記録されていたヤマトオサガニやマメコブシガニは今回の調査でも確認されませんでした。



フタバカクガニ



また、平潟湾では記録がありますが、侍従川では記録のなかったニクハゼが初めて確認されました。今年の春初めて確認されたヒナハゼは、汐見橋でも確認されましたが、それより下流では確認されず、以前と同様ココスの前でまとまって確認されました。

【調査範囲】 中流域（大道東橋－第二山王橋）

【確認した生物】 チチブ、ウキゴリ、ビリング、シマヨシノボリ、ボラ、メダカ、ミゾレヌマエビ、ハグロトンボ（41個体）、ハグロトンボ幼虫、コシボソヤンマ幼虫、ミシシippアカミミガメ、アオダイショウ、カワニナ、イシマキガイ、ヒメモノアラガイ、カワセミ

【備考】 大道中学校のホタル調査のあとは、朝比奈小学校と蛭谷戸でも調査をしてきました。

朝比奈小：ゲンジボタル4♂、川崎産外来ヘイケボタル6♂3♀（駆除しました）

蛭谷戸：ゲンジボタル3♂



ニクハゼ



ハグロトンボ

2016年8月28日（日）

9:00～11:00

【調査範囲】 中流域（ちとせ園－泥牛橋）

【確認した生物】 イシマキガイ、カワニナ、ハグロトンボ、テナガエビ科、ミゾレヌマエビ、ミナミテナガエビ(金子君が同定)、モクズガニ、クロベンケイガニ、ボラ、コイ、マハゼ、チチブ、ゴクラクハゼ、シマヨシノボリ、ビリング、ウキゴリ、スミウキゴリ、カワウ、カルガモ

【備考】 埋め立ところの砂が台風で運ばれ砂が盛り上がってました。

#### 生き物発見記録

6/18（土）侍従川でニクハゼが初記録されました（学生部調査）

フタバカクガニが久しぶりに確認されました（学生部調査）

6/25（土）朝比奈切り通し入口湿地産のヘイケボタルを今年も採卵しました。現在幼虫を飼育中です（佐野）

7/6（水）横須賀市深浦でクサフグの産卵を確認。狭い空間で産卵が確認されたため、侍従川でも産卵している可能性があります。今後の調査が望まれます（金子・深沢）

9/13（火）侍従川の河口でアケボノチョウチョウウオを目撃（高橋周佑）

## トピックスその2

7/14 (木) 杜ちやいんど園おひさま組が侍従川川遊び (中流域) …細川、山田が対応

7/15 (金) 大道幼稚園が侍従川川遊び (中流域) …村田、細川が対応

7/20 (水) 鶴見あけぼの保育園が侍従川川遊び (中流域) …村田、細川、山田が対応

7/30 (土) 31 (日) いきもの体験博物館 ⇨

(主催: 横浜の水辺と緑を考える子ども会議)

於: トレッサ横浜

生きもの展示で出展…今井、玉利、深沢が対応

8/5 (金) 大道小学校はまっ子ふれあいスクール

が侍従川川遊び (中流域) …飯村、深沢が対応



8/31 (水) 高舟台小5年が侍従川生きもの調べ (中流域) …村田、細川、山田が対応

9/2 (金) 大道小学校3年生が侍従川探検 (中流域) …村田、細川、山田が対応

9/5 (月) 六浦小学校3年生が侍従川探検 (中流域) …村田、細川、山田が対応

## 事務局だより

事務局 金澤 由香

### ◆ 10月～12月の活動予定◆

☆定例クリーンアップ 10/23 (日)、11/27 (日)、12/25 (日)

9時～12時 ちとせ園集合 ※雨天延期…翌週日曜

持ち物: 川に入れる格好、タオル、軍手 (必要な人)、網 (使いたい人…貸出あり)、  
着替え (心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆10/2 (土) ハゼ釣り大会 9時大道小集合 15時頃ちとせ園解散

午前…ハゼ釣り (汐見橋付近…下流域) 午後…天ぷら調理 (ちとせ園…中流域)

参加費: 非会員のみ¥500

☆11/3 (木・祝) 秋の恵みをいただく! ~秋の森たんけん~

9:30大道小集合 午後…ちとせ園で調理 参加費: 非会員のみ¥300

☆12/10 (土) 冬の森たんけん 9時大道小集合

※詳細はホームページ及びメーリングリストで

### ■ 学生部の活動は追ってお知らせします。

《編集後記》 今年の夏は猛暑で大変でした。そうこうするうちに台風、秋の長雨と天候不順が続いています。秋の活動に影響しないか心配です。活動日はカラッと晴れて欲しいですね。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会

事務局: 金澤 由香

TEL: 090-4072-8485

e-mail: jijyukai@gmail.com